



新年のごあいさつ



病院長
平田 恭信

東京逡信病院ご利用の皆様

明けましておめでとうございます。

最近のお具合はいかがでしょうか、お伺い申し上げます。

今年は酉年です。他の大国の情勢が日本の医療にも影響を及ぼしかねない時代となってきましたので、酉年はどういう年なのだろうと運勢が気になります。しかし医療はそういうことで左右されてはならないはずです。

病院の使命はもちろん、病気を治すことですが、患者さんも心身共に快適な状態で治療を受けたいはず。我々病院スタッフはそのあたりを自分のこととして捉え、患者さんのご要望に応え、痛いところにもかゆいところにも手の届くような診療を提供したいと願っています。厚生労働省は全国の病床のうち、約20万病床が余分であるとして、これらの20万ベッドを削減することに決めました。しかし東京都の中央部はベッド数が足りない地域とみなされていますので、私どもも病床を有効活用していきたいと思っています。

東京逡信病院では現在、大型医療機器を更新中でその工事のためにご迷惑をおかけしております。一つはMRI装置を現在の1.5テスラの装置から3.0テスラの装置へ更新中です。3月には新しい装置が使用可能になります。テスラは磁力の大きさを表す単位で、数字が大きいほど、画像の解像度が増すことになります。また放射線照射装置も新型に入れ替えます。放射線治療は一部の疾患に劇的な効果を発揮しますが、狙った部位の周辺にも影響が及び、やけどのような副作用が出るのが難点です。今回の装置では治療部位をよりピンポイントに照射することができ、有効性は増し、副作用は軽減できることが期待されます。これは5月下旬から使用可能です。それまでに照射が必要な状況が発生した患者さんには当院が責任を持って東大病院など関連施設で照射を継続できる体制を取っております。

また今月中には病院スタッフの執筆による「身近な病気がよくわかる！病気&診療完全解説BOOK—101疾患の診断・治療から費用まで—」を出版します。これは病気の内容ばかりでなく、入院期間や医療費まで網羅したユニークな一般医学書です。院内ローソンでも購入できますので、ご一読いただくと嬉しく存じます。

私どもがチームドクターを務めております日本郵政女子陸上部が昨年11月のクイーンズ駅伝2016（全日本実業団女子駅伝）で創部3年目にして日本一になりました。本人達にも予想外の好成績だったようです。病院でもチーム医療の重要性が注目されていますが、この優勝で改めてチームワークの大切さを知った次第です。

当院職員一同はいつも皆様の身近な健康維持へのお手伝いが出来たらと願っていますが、一方、震災のような天変地異が起きた時の負傷者にも対応出来るよう日々努力して行きたいと思っております。本年が皆様にとりまして健康に恵まれます一年でありますよう、心より祈念しております。



冬の皮膚症状



皮膚科
松崎 大幸

1. はじめに

冬は、気温の低下に加えて湿度の低下が起こるため、様々な皮膚症状が出現します。今回は、皮膚の乾燥が原因となる病気や、気温の低下により起こりやすい皮膚の症状について解説します。

3. 凍瘡（しもやけ）・末梢循環障害

しもやけは医学的に凍瘡といいます。寒い時期、厳冬期よりも初冬や初春のように、朝晩と日中の気温差が激しいときに発症しやすくなります。寒冷刺激を受けやすい手足、耳・鼻が赤く腫れて痛痒くなってきます。

予防は手袋やマスク・耳あてのような防寒具による局所の保温となりますが、症状が出てしまったらビタミンE配合剤やヘパリン類似様物質の外用を行い、症状が強い場合には血行を改善させるビタミンEや血管拡張剤の内服を併用します。

2. 皮脂欠乏症・皮脂欠乏性湿疹

皮膚は、一番外側を角層というもので覆われていますが、角層の水分は角質細胞間脂質（セラミドなど）と皮脂（トリグリセリドなど）、天然保湿因子（アミノ酸など）によって保たれています。加齢とともにセラミドと天然保湿因子は減少し、皮膚から水分が抜けやすくなり乾燥しやすくなります。冬の乾燥した気候と暖房による低湿度の環境によって、お年寄りや皮脂の少ない子供、セラミドの少ないアトピー性皮膚炎の人などは、皮膚のきめが粗くなり白い粉（鱗屑）をふいて乾燥する状態（皮脂欠乏症）になりやすくなります。角層は外界からのバリアの役割をしているため、角層が破壊されると、細菌などの微生物や、物理化学的刺激によって炎症を起こしやすくなります（皮脂欠乏性湿疹）。

熱いお風呂に長くつかったり、脱脂力の強いボディソープで体を洗いすぎると、皮脂と角質細胞間脂質が流れ出てしまうため、皮膚は乾燥します。また、タオルやスポンジで強くこすって体を洗うと、角層が破壊され乾燥しやすくなります。

こまめに適切な保湿剤（ヘパリン類似様物質、尿素軟膏）、ワセリンを頻繁に塗って皮膚を保護するようにしましょう。乾燥だけの場合は保湿剤を塗るだけで十分ですが、赤み・かゆみのような炎症が起きた場合はステロイド外用剤を塗る必要がありますので、皮膚科を受診した方が良いでしょう。

4. やけど（熱傷・低温熱傷）

やけどは一年中起こりますが、特に冬は暖房器具の使用でやけどの頻度が多くなります。熱湯などによる通常のやけどに加えて、カイロや湯たんぽなどによる低温やけどにも注意が必要です。

温かく心地よいと感じる程度の温度（44℃～50℃）でも、長時間にわたって皮膚の同じところに触れているとやけどになることがあり、これを低温やけど（低温熱傷）といいます。通常のやけどと異なるのは、高温であれば反射的に回避行動をとりますが、痛みを感じるほどの温度ではないため、やけどを起こしていることになかなか気づかない点です。また、最初は表面の見た目が軽い赤み程度であることも多く、時間がたってから徐々に壊死してくることも少なくありません。

熱源としては、湯たんぽや使い捨てカイロ、電気あんかが多く、時間をかけて組織が傷害されているため深いやけどになってしまい、通常のやけどよりも重度になり治りにくくなることも少なくありません。知覚が低下している高齢者や糖尿病患者、自分で動けない新生児や乳幼児、泥酔している人などに多く、男女では足が冷えやすい女性に多い傾向があります。

湯たんぽを使用の際には、寝る前まで布団を暖めるのに使用し、寝る前には取り除くなどの工夫をしましょう。また、使い捨てカイロなどは、同じ個所に長時間貼らないように気をつけましょう。



ダニアレルギーによる 通年性アレルギー性鼻炎

に対する

舌下免疫 療法



耳鼻咽喉科部長
八木 昌人

スギ花粉症に対する舌下免疫療法は2シーズンを終え、その効果が実証されてきました。当科で治療を受けている患者さんでも「今までになく楽にすごすことができた」など、効果を実感された声を多数聞くことがで

きました。そうした意味では、舌下免疫療法はスギ花粉症治療の主流の1つになりつつあります。ところで、アレルギー性鼻炎にはスギ花粉症のような季節性と、ダニやハウスダストを原因とする通年性があります。通年性アレルギー性鼻炎の治療も花粉症と同様に抗アレルギー剤と言ってアレルギーによって生じたヒスタミンなどの化学物質をブロックする薬剤が主として使用されてきました。しかし、通年性アレルギー性鼻炎の治療の難しいところは、花粉症と違って、症状が1年中続くところにあります。また、通年性アレルギー性鼻炎の患者さんは気管支喘息を合併率することがあり、鼻症状が悪化すると喘息も悪化することを日常よく経験します。そのため、鼻炎症状を抑えることが喘息のコントロールに欠かせません。つまり、患者さんは1年中抗アレルギー剤と縁の切れない生活を送らなくてはならないのです。そこで、ダニアレルギーに対しても減感作療法とよばれる治療がおこなわれてきました。しかし、長期間にわたる注射や、アレルギーを起こさせる物質を注射で体内に入れることによる危険性などが普及を阻んできました。そこで、ダニアレルギーに対しても舌下免疫療法が開発されました。これは

ダニエキスを濃度の低いものから高いものへ舌下していくことにより、アレルギー反応を抑えようというものです。具体的にはダニエキスを含んだ錠剤を舌下して、1~2分間保持した後、嚥下してもらうもので、3~5年間継続する必要があります。この治療の対象は血液検査でダニアレルギーが確認されていること、12歳以上で3~5年毎日内服が可能なこと、重症の喘息の合併がないことが挙げられています。また、ステロイド、抗癌剤、 β 遮断薬を使用している患者さんは対象外とされているため、継続している薬があれば、確認が必要です。治療の開始時期はスギの場合とは異なり、とくに制限はありません。また、妊娠中の患者さんは治療を開始できませんが、治療中に妊娠した場合は継続可能です。ダニの舌下免疫療法では、薬を舌下した際に口腔内の腫れや違和感といった局所的なアレルギー症状が治療開始後1か月程度は出現する可能性があるため、こうしたことも念頭において治療を受けていただく必要があります。治療効果は約80%に症状の軽減が認められています。ただ、スギ花粉と同様に治療終了後の効果は長期間持続しますが、残念ながら永続的なものではありません。また、non-responderとよばれる治療効果の低い方が約20%いることなどから、治療を開始するには今まで述べたことを十分理解していただくことが必要です。なお、この治療はごく少数ですが全身的な合併症がみられることから、舌下免疫療法に関する講習とe-learningを受講した医師のみが処方可能となっており、最初の服用の際は医師が立会い、最低30分の経過観察が義務付けられています。この治療を希望される患者さんがいらっしゃれば、当科で対応いたしますので、お気軽にご相談ください。



新しい放射線治療装置を導入します



放射線科
竹中 亮介

放射線科では現在、新しい放射線治療用直線加速器（リニアック）を導入するための工事を行なっています。工事期間中は近隣の病院に治療をお願いしていますが、今春5月中旬から新しい装置での治療を予定しています。

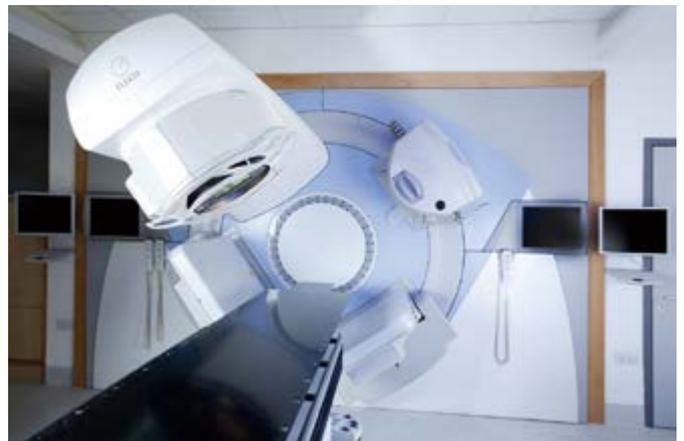
放射線治療はお体を切り開くことなく癌細胞を消滅させることができるので、ご高齢の患者さんや、癌以外の病気があって手術に耐えられない患者さんにも負担の少ない治療と言えます。子宮頸癌や前立腺癌、頭頸部癌や食道癌など、手術と遜色ない治療成績で治せる癌も数多くあります。

また、癌が骨に転移すると強い痛みを生じることがありますが、そのような場合にはモルヒネなどの痛み止めと併用して骨に放射線を当てることで、痛みを軽減することができます。骨転移の痛み以外にも様々な症状に関して、原因となっている部位に放射線を当てることで症状を取り除くことができます。癌によるつらい症状をお持ちの患者さんは、ぜひ主治医の先生に「この症状、放射線と和らぎませんか？」と相談してみてください。ご連絡を受けて放射線治療を段取りいたします。

放射線科では現在、新しい放射線治療用直線加速器（リニアック）を導入するための工事を行なっています。工事期間中は近隣の病院に治療をお願いしていますが、今春5月中旬から新しい装置での治療を予定しています。

放射線治療はお体を切り開くことなく癌細胞を消滅させることができるので、ご高齢の患者さんや、癌以外の病気があって手術に耐えられない患者さんにも負担の少ない治療と言えます。子宮頸癌や前立腺癌、頭頸部癌や食道癌など、手術と遜色ない治療成績で治せる癌も数多くあります。

また、癌が骨に転移すると強い痛みを生じることがありますが、そのような場合にはモルヒネなどの痛み止めと併用して骨に放射線を当てること



エレクタ社製シナジー（写真提供：エレクタ株式会社）

ご利用案内

診療科

内科、内分泌・代謝内科、血液内科、神経内科、感染症内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、精神科、外科（乳腺センター）、消化器外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科（関節鏡・スポーツセンター）、婦人科、小児科、眼科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科（ペインクリニック）、緩和ケア内科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科

外来診療日

- 月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）

予約の方法・予約受付の時間帯等

- 電話での予約…9:00～17:00（土・日・祝日及び年末年始を除く）
- 電話番号……03-5214-7381

時間外（急患）診療

- 連絡先……03-5214-7768（救急診療室）

診療受付時間

窓口	午前の診療	8:30～11:00
	午後の診療	12:30～16:00
自動受付機 （予約のある方のみ）		8:00～16:00

人間ドックセンター

- 連絡先……03-5214-7055、7167
オプションで脳ドック、肺がんドックも行っております。





地下鉄東西線
A4 出口から
病院まで徒歩
約9分、約670m

西口出口から病院まで
徒歩約6分、約430m
※ホーム移設工事により、現
在西口出口が移動しています。

地下鉄南北線
有楽町線 B2a 出口
病院まで徒歩約6分、約450m

善國寺神楽坂里沙門天
病院から徒歩約11分、850m

東京大神宮
病院から徒歩約4分、300m

東京逹信病院
人間ドックセンター
03-5214-7055

東京逹信病院
〒102-8798
千代田区富士見2-14-23
(代) 03-5214-7111

靖國神社
病院から徒歩約11分、850m

通信 道 寄り



統合失調症

第1回 症状の特徴



精神科部長
亀山 知道

今回から4回にわたって、統合失調症の話をします。

色々な方から、「何故精神科医になったのですか？」と聞かれることがあります。その時には、「待ってました」とばかり、以下の話をすることにしています。

私が大学生だった頃は、入学して2年間は、教養学部で主に一般教養を学びました。その後の4年間は医学の勉強です。5年生（つまり医学部の3年生）の時に、精神科の外来実習がありました。私は精神科外来の初診の患者さんの予診取り（担当医師の診察の前に患者さんの話を聴く）を担当したのです。

患者さんは20歳前後の女子大生でした。診察室に入ってくるなり、「宇宙の寄生生命が私の頭の中に入り込み、指令を送ってきています。私は支配されていて、ロボットのように動かされています。頭の中の寄生生命を取り除いて下さい。」と、早口で話したのです。

「世の中には、こんな患者さんがいるのか」と、とにかく私はびっくりしました。

今なら、幻聴（誰も話していないのに声が聞こえる）があり、幻聴の内容に振り回されて、妄想（訂正不能な誤った考え）も出現している、現実を正確に把握できておらず、自分が病気であるという認識（これを病識と言います）がなく、実際に寄生生命が脳に入りこんでいると思込み、それを取り除いて欲しいと訴えてきている、と分析できるのですが、当時は勉強不足で皆目見当がつか

きませんでした。「よくわからないが、これは間違いなく重い脳の病気に違いない」と思いました。そして、精神科では、このような患者さんをどのように治療するのだろうか、薬は効くのだろうか、そもそもこんな重い病気は治るのだろうか、長期的にどんな経過をたどるのだろうか、といったことに興味を持ちました。

一通り私が話を聴いた後で担当の精神科医が診察しました。診察が終わった後、担当医の詳しい説明があるものと思っていたのですが、実習はすぐに終わりそうになりました。私は、担当医に「今の患者さんの診断名は何ですか？」と聞いたのです。先生はびっくりしたような顔をして、「シゾフレニーです。」と言ったのです。私は、「ああそうですか。シゾフレニーですか。」と言って、それで実習は終わったのですが、実は私は、シゾフレニーというドイツ語が、統合失調症（当時は精神分裂病と呼ばれていました）のことであることを知りませんでした。

この実習の前までは、精神医学には関心がなく、「自分は不器用で外科手術はできそうにないので、内科医になるか」と漠然と思っていたのですが、この患者さんに出会ったことで、私の進路が変わりました。この患者さんに出会わなければ、私は精神科医にはなっていなかったと思います。

実際に精神科医になって、統合失調症の患者さんをみていると、この患者さんのような幻聴や妄想といった症状は、発病直後の急性期によく出現します。これらは派手な症状で、いかにも重い病気という印象を持ちますが、実は薬（抗精神病薬）が良く効きます。しかし、再発が多いという問題があります。次回からは統合失調症の再発についてお話しします。



東京逡信病院 クリスマス会

2016年12月16日(金)に、当院の患者さんやご家族の方々に楽しいひと時を過ごしていただくため、診療棟1階の薬渡し口前ロビーを会場にして、クリスマス会を開催しました。

今年も昨年と同様に4演目と、盛りだくさんの内容となりました。

司会は、七夕イベントに引き続いて岩本さんをお願いし、クリスマス会でも楽しいトークで、会場を更に盛り上げて頂きました。

前半は、ひまわり育児室くま組によるお遊戯と歌、サイガバレエ研究所の皆さんによるクラシックバレエの踊りで、会場全体に明るく可愛く元気な力を頂きました。

後半は、manmiさんの心温まるピアノによる音楽の弾き語り、終盤では、けんこう家族の連載でご存じの、精神科の亀山部長が会場を包み込む歌声を響かせ、クリスマスという季節を会場の皆さんと一体で感じ、会を終了しました。今後もこのような行事を計画していきたいと思っておりますので、皆さんお誘いの上、参加をお待ちしております。



新任医師紹介

2016年10月1日採用

整形外科医師

平山 容成

10月より、整形外科で勤務させていただくことになりました。患者さんにより良い医療を提供できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



当院を退職しました

2016年12月31日退職

川瀬 正昭 (皮膚科 主任医長)



ナースステーション

退院支援部門のご紹介



看護部 看護師長（退院支援担当）石川 よし子

皆さんは「退院支援」という言葉から何を連想されますか？おそらく、あまり良いイメージを持たれないのではないかと思います。私たちの仕事は、患者さんやご家族が療養する場所・方法を自ら決定する手助けをし、退院に向けての医療指導、それを実現するために必要な制度やサービスの活用に向けて地域と調整することを目的として活動しています。

退院支援部門は、看護師長・看護師各1名、社会福祉士の病棟担当4名、外来担当1名の配置となっております。外来の患者さんは診療棟1階医療福祉相談室に、入院の患者さんは診療棟4階医療福祉相談

室を窓口としています。医師からの依頼があった場合や、何かお困りの時は、前もってご連絡をいただき対応させていただきます。

病棟ではスタッフや医師と共に、入院患者さんについて退院支援の必要性をスクリーニングさせていただき、退院に向けて何かしらの支援が入院中行われる場合、病棟スタッフより「退院支援計画書」という用紙をお渡ししますので、ご確認ください。

患者さんが安心して退院できるよう尽力しますので、何かお悩みがありましたらご相談ください。

人間ドックのおすすめ

人間ドックセンター

1 年に1回は健康チェック

男性 基本検査

身体測定 呼吸器系 循環器系 腎・尿路系 代謝系	肝・胆道系 消化器系 血液系 炎症・その他	眼科 耳鼻科
--------------------------------------	--------------------------------	-----------

料金 44,300円

追加でオプション検査もごございます。

女性 基本検査

身体測定 呼吸器系 循環器系 腎・尿路系 代謝系	肝・胆道系 消化器系 血液系 炎症・その他	眼科 耳鼻科 婦人科(子宮頸がん検診) 外科系(乳房撮影+触診)
--------------------------------------	--------------------------------	---

料金 51,500円

追加でオプション検査もごございます。

当院人間ドックは病院併設のメリットを生かし、受診者みなさまの正確な早期診断と早期治療を実践しています。

一例として、基本検査（眼科、婦人科、外科を除く）の他、胃内視鏡検査、各種がん腫瘍マーカーなどの一部オプション検査も当日中に結果をお渡しし、医師が説明します。

もし、異常が見つかった場合、東京通信病院での診療の予約がすぐにとれたり、場合によって当日のうちに診察していただけます。

追加のオプション検査や、詳しい内容につきましては、下記へお問合せください。（平日8：00-16：45）

2 最近の話題 喫煙と遺伝子突然変異の関係

—— 1年間毎日1箱の喫煙によって肺では150個の遺伝子の突然変異が蓄積 ——

がん患者の遺伝子情報解析による喫煙との相関関係が、昨年、国立がん研究センター等から示されました。（「がんゲノムビッグデータから喫煙による遺伝子異常を同定」をご参照ください。）

喫煙者では肺がん（腺がん）、咽頭がん、口腔がん、膀胱がん、肝臓がん、腎臓がんにおいて統計的に有意な遺伝子の突然変異を認めたそうです。（DNAが傷つくことで、がんの細胞増殖を誘発したり、がんを抑制する細胞の不活性化が起きがん細胞が増殖したと考えられます。）

1年間毎日たばこ1箱喫煙することで、平均すると「肺では150個、咽頭では97個、咽頭では39個、口腔では23個、膀胱では18個、肝臓では6個の遺伝子の突然変異が蓄積されていると推計されたそうです。

今回の発表は、吸わない人に比べると「喫煙は明らかに遺伝子の突然変異を起こす」ことが証明されました。吸わないことが、上記のがんに罹患する確率を減らすことが明らかとなりました。

この報告とは別に、喫煙者が減っているにも関わらず、肺がんの罹患者数は減っていないという報告もあります。吸う人も、吸わない人も人間ドックご受診の際はオプション検査の「肺がんドック」を是非、プラスしてみてください。

